

# U.S. Indicators

## 米国 自動車・ハイテク主導で持ち直しの動き (15年7月耐久財受注)

発表日：2015年8月27日 (木)

～年後半の機械設備投資の回復を示唆～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治

03-5221-5001

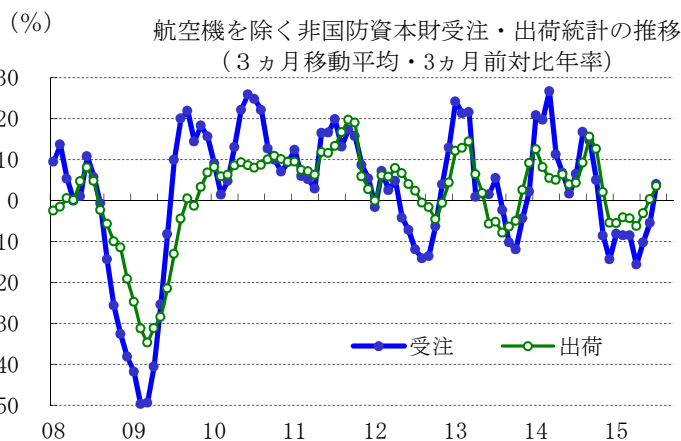
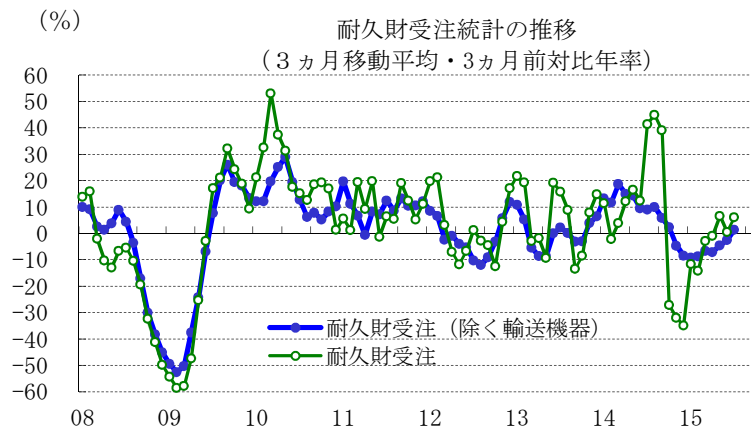
	出荷				耐久財受注				在庫			
	除く輸送機器			非国防資本財 除く航空機	除く輸送機器			非国防資本財 除く航空機	除く輸送機器			非国防資本財 除く航空機
14/12	+1.9	+0.8	(+4.2)	+1.2	▲3.9	▲0.3	(+5.6)	+0.9	+0.5	+0.4	+0.1	
15/01	▲0.9	▲1.0	(+3.6)	▲0.5	+2.9	▲0.3	(+1.8)	▲0.2	+0.3	+0.3	▲0.2	
15/02	▲1.1	▲0.5	(+1.9)	▲2.3	▲3.5	▲1.7	(▲0.4)	▲5.1	+0.3	▲0.0	+0.2	
15/03	+1.5	+0.1	(+0.4)	+1.0	+5.1	+0.6	(▲2.0)	+1.6	+0.0	+0.1	+0.3	
15/04	▲0.3	▲0.3	(+0.2)	+0.2	▲1.7	▲0.6	(▲2.0)	▲0.7	+0.2	+0.1	+0.2	
15/05	▲0.4	▲0.4	(▲0.6)	▲0.4	▲2.3	▲0.3	(▲2.7)	▲0.8	▲0.2	▲0.4	▲0.5	
15/06	+0.9	+0.4	(▲0.8)	+0.9	+4.1	+1.0	(▲4.5)	+1.4	+0.4	+0.1	+0.1	
15/07	+1.0	+0.2	(▲1.9)	+0.6	+2.0	+0.6	(▲2.5)	+2.2	▲0.0	▲0.0	▲0.1	

**7月の耐久財受注は前月比+2.0%、除く輸送機器が同+0.6%と鈍化**

7月の耐久財受注は、前月比+2.0%（前月+4.1%）と市場予想の同▲0.4%に反して増加した。輸送機器が拡大したほか、電子機器関連、コンピューター関連が加速した。一方、変動の大きい輸送機器を除いた耐久財受注は、一次金属、加工金属が減少したものの、一般機械、電子機器関連、コンピューター関連の増加を背景に、同+0.6%（前月同+1.0%）と市場予想の同+0.3%を上回った。コンピューター関連の需要拡大により、耐久財受注は持ち直しの動きを示している。ただ、価格、数量の両面から押し下げ圧力を受け、前年比ではマイナス幅を拡大しており、回復感に乏しい。3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率でモメンタムをみると、7月の耐久財受注が+6.1%（前月同+0.6%）とプラス幅を拡大した。輸送機器を除く耐久財受注は+1.4%（前月▲2.5%）とプラスに転じた。

**7月の非国防資本財は出荷が前月比+0.6%、受注が前月比+2.2%とともに加速**

設備投資に関しては、機械設備投資の一致指標である非国防資本財出荷（除く航空機）が7月に前月比+0.6%と市場予想の同+0.4%を上回った。また、機械設備投資の先行指標である非国防資本財受注（除く航空機）は、7月に前月比+2.2%（前月同+1.4%）と市場予想の同+0.3%を大幅に上回った。3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率でも、非国防資本財出荷（除く航空機）が+3.5%（前月+0.3%）と加速し、非国防資本財受注（除く航空機）は+4.0%（前月▲5.5%）とプラスに転じた。年後半の機械設備投資の回復を示唆している。ただし、ドル高、原油価格の下落、弱い海外需要など、価格、数量の両面から押し下げ圧力を受け、年内の機械設備投資の勢いは弱いものとなろう。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。